

しもつけし
**ぎかい
だより**
令和3年2月15日発行

令和2年 **第4回定例会**～12月議会～
—— 今号のポイントは？ ——

- 令和2年度各会計補正予算 …………… P 2
- 一般質問
9名の議員が質問しました …………… P 8
- 会派代表者インタビュー 会派活動の
「これまで」と「これから」 …………… P 14
- 議会情報ON AIR! 「こんにちは! 下野市
議会です」がスタート …………… P 15



FMゆうがおで、「こんにちは! 下野市議会です」がスタート

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>
下野市 市議会



令和2年第4回

定例会

12月3日(木)～17日(木)

令和2年第4回定例会は、12月3日から17日までの15日間の会期で開催されました。

市長提案（追加議案含む）により、令和2年度補正予算6件、条例の一部改正等4件、指定管理者の指定8件の計18件が提出されました。

一般質問では、9人の議員が質問を行い、市の対応や考え方を問いました。

令和2年度各会計補正予算を議決

一般会計補正予算
(第5号)

東京オリンピック・パラリンピック推進事業費を計上

一般会計の歳入・歳出からそれぞれ8億6,389万7,000円を減額し、予算総額を347億2,399万9,000円としました。

下野市が、キプロス共和国を相手国とする東京オリンピック・パラリンピックの競技大会のホストタウンとして登録されました。その推進事業として、市長からのキプロス選手団歓迎のビデオメッセージやキプロス共和国の国旗をプリントしたマスクと懸垂幕を作成するため、354万7,000円が計上されました。また、大松山運動公園の砂利駐車場の土地購入費として4,366万3,000円が計上されました。

南河内中学校区の義務教育学校整備事業では、契約や支払いに関する協定の締結などにより、今年度の事業費が当初予定していた金額よりも10億5,545万円の減額となりました。なお、令和2年度の義務教育学校整備事業の事業費は6億1,285万2,000円となります。

キプロス共和国



(国旗)

トルコの南に位置するキプロス島の大部分を占める共和制国家。面積は9,251㎡（四国の約半分）。地中海では、シチリア島、サルデーニャ島に次いで3番目に大きな島。美しい海と豊富な海の幸に恵まれている。

「ホストタウン」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する国・地域の住民との、スポーツ、文化、経済などの多様な分野での交流を通じて、地域の活性化を推進する。東京大会後の継続的な交流を目的とした取り組み。

一般会計補正予算
(第6号)

ひとり親世帯への臨時特別給付金を再支給

一般会計の歳入・歳出にそれぞれ2,736万円を増額し、予算総額を347億5,135万9,000円としました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、低所得のひとり親世帯について、子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより特に大きな困難が心身等に生じていることを踏まえ、1世帯当たり50,000円、第2子以降加算1人あたり30,000円を支給するため、補正予算として2,736万円が計上されました。

令和2年度各会計補正予算

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一般会計	第5号	△8億6,389万7千円
	第6号	2,736万 円
特別会計	国民健康保険(第3号)	2,326万8千円
	後期高齢者医療(第2号)	77万 円
	介護保険(第2号)	3,283万3千円
	仁良川地区土地区画整理事業(第2号)	4,100万 円
		補正後の予算額
		347億2,399万9千円
		347億5,135万9千円
		54億2,920万1千円
		6億8,233万3千円
		47億6,140万5千円
		6億6,434万6千円

条例その他

議決した主な議案についてお知らせします。

保健福祉センター条例の一部改正

これまで内税の表記であった部分を外税に変更し、課税の明確化を図りました。

財産の取得

財産の種類：小中学校タブレットPC 5,300台
 取得方法：指名競争入札
 契約金額：4億7,575万円
 契約の相手方：システム興産株式会社
 代表取締役 石川 博文

工事変更請負契約の締結

令和元年第4回定例会において議決された工事請負契約（しもつけ風土記の丘資料館増築工事）について、軒先の木材を準不燃材に変更したことなどによる増築工事です。施設は令和4年12月に供用開始予定です。

工事名：しもつけ風土記の丘資料館増築工事
 契約金額：変更前 2億3,980万円
 変更後 2億4,164万8千円
 契約の相手方：株式会社 小林工業
 代表取締役 小林 英一郎

総括質疑

市長から提案された議案について、疑問点を問います。

石橋複合施設整備事業（デザインアンドビルド業務）（一般会計補正予算（第5号）継続費）

Q 石橋複合施設整備事業デザインアンドビルド事業の契約額が12億1,660万円であったが、令和4年度までの事業総額が13億3,892万2,000円となっている。この差額の内容を伺う。

A 差額は付帯工事の光ケーブル引込工事や市調達分の備品購入費である。

「デザインアンドビルド（DB方式）」

公共工事において一つの企業体が設計と施工を行う。DB方式を導入することで、発注者の調整業務を軽減でき設計期間と施工期間の短縮を図れるほか、設計当初から施工の専門家が携わるため、コスト縮減と時間削減にもつながる。

ひとり親世帯臨時特別給付金（一般会計補正予算（第6号））

Q 「コロナ禍で特に低所得のひとり親世帯に大きな困難が生じている」という理由を問う。

A ひとり親世帯は、仕事をしながら子育てを1人で担っている。コロナ禍が長引き困難な状況が続いている。国の制度にのっとり支給するものである。

Q ひとり親への今年度2回目の給付となるが、補正額が前回（6月）と異なる理由を説明願う。

A 前回は、基本給付について344世帯が給付され、追加給付（家計急変）は前回337世帯を見込んでいたが、申請した世帯は163世帯だった。今回は、前回の実績を参考にした。

陳情第3号 国に対して「妊産婦医療費助成制度」を創設するよう意見書提出を求める陳情

陳情の趣旨

疾患や受診科目による制限のない妊産婦に対する医療費助成制度を国の制度として早期に実現するよう国への意見書提出を願う。

教育福祉常任委員会での意見

- 栃木県ではすでに導入されており、制度自体には肯定的な考えであるが、国では、成育基本法による各種の政策や、子育て世代包括支援センター等の取組みも行われている。もう少し国の動向を見てから判断したい。
- 妊娠中の病気の保険適用について調査してから判断しても良いと思う。
- 他の福祉事業とのバランスも関係してくる。妊娠期間だけでなく、出産後の福祉、子育てに関することも充実してほしい。
- 国でも新内閣が誕生し、不妊治療に対しても政府として前向きに取り組んでいるところであるため様子を見たい。継続審査としてもよいのではないかと。

委員会表決の結果

「継続審査」とすべき

本会議表決の結果

全会一致により「継続審査」とすることに決定しました



常任委員会での
 審査内容を報告する
 松本教育福祉常任委員長

指定管理者の指定について

下記の施設について、令和3年3月31日をもって指定管理期間が終了となることから、それぞれ指定管理者として再指定するための議案が可決されました。

指定期間は、いずれの施設も令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間です。

コミュニティセンター

施設名	指定管理者
姿西部考古台地コミュニティセンター	姿西部考古台地コミュニティ推進協議会
コミュニティセンター友愛館	東方台地コミュニティ推進協議会
上町コミュニティセンター	石橋上町コミュニティ推進協議会
栄町コミュニティセンター	栄町コミュニティ推進協議会
石橋駅前コミュニティセンター	石橋駅前コミュニティ推進協議会
石橋中央コミュニティセンター	石橋中央コミュニティ推進協議会
石北コミュニティセンター1号館	石北地区コミュニティ推進協議会
石北コミュニティセンター2号館	石北地区コミュニティ推進協議会
グリーンタウンコミュニティセンター	グリーンタウンコミュニティ推進協議会
仁良川コミュニティセンター	仁良川コミュニティセンター運営協議会
薬師寺コミュニティセンター	薬師寺地域コミュニティ推進協議会

保健福祉センターゆうゆう館

指定管理者：社会福祉法人下野市社会福祉協議会

市民農園

指定管理者：公益財団法人下野市農業公社

農村レストラン

指定管理者：レストハウスしもつけ管理組合

道の駅しもつけ、ふれあい館、三王山ふれあい公園

指定管理者：株式会社道の駅しもつけ

グリムの森・グリムの館

指定管理者：
一般財団法人グリムの里いしばし

「指定管理者制度」

公の施設の管理運営を、期間を定めて民間企業やNPO法人、市民団体などに委託する制度です。民間の力を活用し、経費の節減やサービスの向上を図ることを目的として導入しています。

議員発議

議員が条例の制定や改正などについて、議案を提出することです。

【発議第5号】「防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書（案）」の提出

全会一致で
可決

【提出者】岡本鉄男 【賛成者】中村節子、秋山幸男、奥田勉、相澤康男、石川信夫

大規模災害が毎年のように発生している。こうした中で、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が策定され、国・地方が取組を進めているが、災害に対する備えとして、道路や河川、砂防施設などの社会資本整備を今後も継続的・計画的に進めていく必要がある。次の事項に取り組むよう要望する。

- 1 「3か年緊急対策」に引き続き、5か年計画を策定すること。
- 2 治水対策等に加え、道路ネットワークの整備を図ること。
- 3 予防保全型の修繕・更新ができるよう予算枠を拡充し、予算を確保すること。
- 4 地域経済の早期再生を図るため、公共事業を含めた補正予算を編成すること。

「意見書の提出」

議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁などに提出できます。

第4回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等 番号	付議事件	結果	坂村 哲也	伊藤 陽一	五戸 豊弘	貝木 幸男	石川 信夫	相澤 康男	奥田 勉	中村 節子	大島 昌弘	高橋 芳市	石田 陽一	小谷野 晴夫	秋山 幸男	磯辺 香代	松本 賢一	岡本 鉄男	村尾 光子
議案62号	工事変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案63号	下野市コミュニティセンターにおける指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案64号	下野市保健福祉センターゆうゆう館における指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案65号	下野市ふれあい館における指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案66号	下野市市民農園における指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案67号	下野市農村レストランにおける指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案68号	道の駅しもつけにおける指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案69号	三王山ふれあい公園施設における指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案70号	グリムの森・グリムの館における指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案71号	財産の取得	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
[追]議案72号	令和2年度下野市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

[追]…追加議案

○…賛成 ●…反対

(議長は表決に加わらない)

全会一致で可決されたもの

議案55号	令和2年度下野市一般会計補正予算(第5号)	議案59号	令和2年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
議案56号	令和2年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	議案60号	下野市コミュニティセンター条例の一部改正
議案57号	令和2年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	議案61号	下野市保健福祉センター条例の一部改正
議案58号	令和2年度下野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	[追]発議5号	「防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書(案)」の提出

[追]…追加議案

議 会 の 動 き

11月

- 4日 議会運営委員会
- 9日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 17日 教育福祉常任委員会
- 18日 経済建設常任委員会・タブレット操作研修会
- 20日 総務常任委員会
- 25日 石橋地区消防組合議会臨時会
- 26日 議会運営委員会・議員全員協議会
タブレット操作研修会
- 30日 第3回臨時会
FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：正副議長)

12月

- 3～17日 第4回定例会
- 8日 第二次下野市総合計画後期基本計画(案)及び
下野市国土強靱化地域計画(案)議員説明会
- 9日 総務常任委員会
- 10日 教育福祉常任委員会

- 11日 経済建設常任委員会
- 15日 議会運営委員会・議員全員協議会
議会活性化特別委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 22日 石橋地区消防組合議会定例会
- 28日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：議会運営委員会)

令和3年1月

- 6日 議会だより編集委員会
- 14日 議会運営委員会
- 20日 議会だより編集委員会
- 25日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：総務常任委員会)
- 27日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 28日 議会だより編集委員会
- 29日 教育福祉常任委員会

常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

総務常任委員会

◎石田 陽一 ○村尾 光子
高橋 芳市 大島 昌弘 貝木 幸男 伊藤 陽一

議案第55号 令和2年度一般会計補正予算(第5号)

消費者行政費

Q 特殊詐欺撃退器購入費の内容と申請件数について伺う。

A 経費の4分の3、上限1万円で60件を予定している。11月30日現在で106件の申請があったので月15件と想定した。

地域総合整備資金貸付事業

Q 貸付利息などの市の負担と総事業費及び貸付金の回収計画について伺う。

A 吉田地区農泊拠点施設建設事業の総事業費は1億5,400万円、融資額は4,100万円で利子を市が負担する。利率0.5%で試算すると利子は約210万円である。そのうち75%は特別交付税措置があるため実質負担分は約50万円となる。貸付金は15年償還を予定している。

議案第60号 下野市コミュニティセンター条例の一部改正

Q 姿西部考古台地コミュニティセンターの使用料が変更されたが、従前と新設のホール面積の差はどのくらいか。また、現在のコミュニティセンターは今後児童館として活用するのか伺う。

A 従前のホールは57平方メートル。新設のホールは150平方メートルである。現コミュニティセンターは児童館として有効活用できるよう調整している。



経済建設常任委員会

◎岡本 鉄男 ○中村 節子
秋山 幸男 奥田 勉 相澤 康男 石川 信夫

議案第55号 令和2年度一般会計補正予算(第5号)

合併特例事業債

Q 生活道路修繕事業が減額となった理由を伺う。

A 舗装工事が安価に終了し、事業費が確定したため財源である合併特例債を減額補正した。

環境保全型農業推進事業

Q 増額の内容を伺う。

A 二種類あり、一つ目は堆肥利用に関するもので、面積が230アールから430アールに増加し、二つ目は有機農業に関するもので、面積が1,670アールから2,185アールに増加した。



スマートIC整備事業

Q 調整池整備の増額の内容を伺う。

A スマートIC整備地の南北に1箇所ずつ予定しているが、北側の調整池460㎡が排水口の高さの関係から排水量が確保できないことが判明し、隣接地に周辺道路の排水も加味した2,800㎡の調整池を整備するためである。

議案第67号 下野市農村レストランにおける指定管理者の指定

Q 指定管理者を公募しない理由を伺う。

A 当初からレストハウスしもつけ管理組合が管理を行っており、市からの指定管理料は無料となっている。地産地消の推進にも取り組んでおり引き続き指定管理者としたい。

教育福祉常任委員会

◎松本 賢一 ○磯辺 香代
小谷野 晴夫 五戸 豊弘 坂村 哲也

議案第55号 令和2年度一般会計補正予算(第5号)

運動場改修事業

Q 土地購入費の内容と今後の土地利用について伺う。

A 大松山運動公園の砂利駐車場の用地買収費となる。プール廃止後の跡地利用も含めて、ピクニック広場やテニスコートの整備計画を財源確保なども検討しながら進めていく。



大松山運動公園の砂利駐車場

体育施設費

Q 旧国分寺西小学校体育館防災施設改修と石橋体育センターの修繕を実施する理由を伺う。

A 旧国分寺西小学校体育館にボルダリング施設を設置したことにより、受信機等の設置が必要になった。石橋体育センター修繕は、暗幕と防球ネットに不具合が生じたための改修であり、令和3年8月に開催される国体のリハーサル大会(ハンドボール)までに修繕をしたい。

文化振興費

Q グリムの森施設整備事業の空調設備事業について伺う。

A グリムの館の全熱交換器の改修である。他の工事を進める過程で、熱交換が適切に作動していないことが分かり、修繕が必要であるため補正予算を計上した。

議案第58号 令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

Q 保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の内容を伺う。

A 保険者機能強化推進交付金は、高齢者の自立支援や重度化防止の取組み内容によって交付される。介護保険保険者支援交付金は、介護予防、健康づくりなどに対する取組みを重点的に評価して交付されるもので、充当先は自立支援や重度化防止、介護予防などに活用するための地域支援事業費である。

議案第71号 財産の取得(小中学校タブレットPC)

Q タブレットPCの本体価格を伺う。

A 付属品を含めてiPad(アイパッド)1台6万4,950円である。

市政を問う 一般質問

一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため、質問人数を各会派から3名までとし、質問時間は会派に所属する議員は1人30分、会派に所属しない議員は1人20分までとして行いました。

9名の一般質問の内容を要約して掲載します。



今回の質問者は

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 大島 昌弘 議員P 8 | 6. 伊藤 陽一 議員P11 |
| 2. 村尾 光子 議員P 9 | 7. 五戸 豊弘 議員P11 |
| 3. 坂村 哲也 議員P 9 | 8. 奥田 勉 議員P12 |
| 4. 相澤 康男 議員P10 | 9. 磯辺 香代 議員P12 |
| 5. 中村 節子 議員P10 | |

一般質問は議会ホームページで動画を公開しています。

感染症対策について伺う

大島 昌弘 議員



市長 新型コロナウイルス接触アプリ「COCOA」のインストールを推進していく

Q 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の利用拡大についての施策を伺う。

A 市長 市職員とその家族に対して「COCOA」のインストールを推進し、市民にも市広報紙や自治会回覧、チラシ等あらゆる媒体でアプリのメリットを積極的にPRし、導入の促進を図っていく。具体的なPR方法としては、市民が出席する会議やイベントの場において直接呼びかけを行っていきたい。

Q 「COCOA」の利用促進に、健康マイレージへのポイント付与をできないか。

A 健康福祉部長 健康づくりという観点から対象に加えていきたいと考えている。

Q インフルエンザ予防接種の拡大に伴う施策は。

A 市長 高齢者や妊婦などハイリスク者に対し、予防接種の促進を働きかけており、任意接種における接種費の一部助成対象者である生後6か月の乳児から小学6年生までの児童に加え、中学1年生から3年生までの生徒と妊婦に拡大し、助成の額を2,900円に拡大した。

Q 診療所によってインフルエンザワクチンの在庫量が違うと聞く。市民から相談があった場合の対応は。

A 健康福祉部長 医療機関と連携し、在庫の確認ができるかどうか協議を進めている。



COCOAのチラシ(抜粋)



村尾光子 議員



水道法改正後の 県南広域的水道整備事業は、 議会・市民へどう説明するのか

市長

これまで同様誠意を持って、お知らせできる段階には様々な広報媒体や市政懇談会で説明する

Q 水道法改正により、令和2年第2回定例会での一般質問への答弁とは状況が異なっている。県の説明及び全体スケジュールはどのようか。

A 市長 第2回定例会では、その時点で市が把握している内容で答弁した。法改正により広域的水道整備計画が廃止されたため、少なからず、県南広域的水道整備事業の進め方や全体スケジュールへの影響があると認識している。栃木市、壬生町とともに栃木県との連携を図り、全体スケジュールの把握に努める。

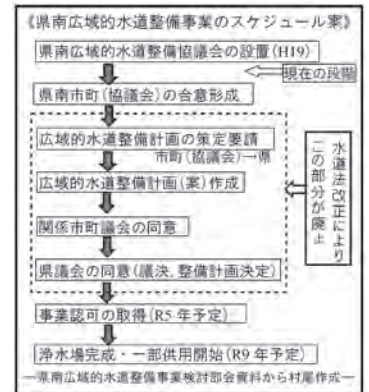
Q 県は本年度当初の各市町水道事業者会議で水道法改正について説明したとのことだ。広域的水道整備事業について市の総合政策課と水道課はどのように情報共有しているのか。

A 市長 5月に開催された市町水道担当課長会議では、

水道法改正についての情報提供を受けた。県南広域的水道整備事業についての言及がなかったため、本事業への影響は認識できなかった。

Q これまで、広域的水道整備協議会で合意形成をする前に市民に説明するとしてきたが、整備計画策定のプロセスがなくなり、議会同意も不要となった。議会、市民へはどう対応するのか。

A 市長 議会や市民からの意見、署名等の意義を踏まえ、誠意を持ち慎重に進める。



国分寺小学校・国分寺中学校の 改築と、その地域のまちづくり に対する考えは

市長

一体化された小・中学校として、新たな形でのまちづくりの中心となる学校づくりとしたい

坂村哲也 議員



Q 石橋中学校では、大規模改修工事後もアトリウムへの営巣によるふん害などが未だに続いている。清掃ボランティアの方々や学校と協議し、高所の清掃などの対策を積極的に進めてほしい。

A 教育長 ボランティアの方々や学校、教育委員会で情報を共有し、今後とも営巣防止のために有効な対策を研究し積極的に講じていく。

Q 石橋中学校区の小中一貫教育の在り方や校舎を利用しての地域活動の充実など、教育方針を再構築

する考えはあるのか。

A 教育長 これまで以上に学校運営協議会と連携を図り、地域の教育力を最大限に取り組んだ教育活動を展開していく。

Q 国分寺小と国分寺中の生徒数を考えると、敷地面積が非常に狭いと思われる。教育や防災の面からも適した場所への校舎の改築と、その跡地利用などを含めた地域のまちづくりにつながる政策として進めていくべきではないか。

A 市長 現在は隣接校としての小中一貫スタイルをとっているが、当然ながら一体化された小・中学校としての方向性で、地域や学校、様々な皆様の意見を聞きながら進めていきたい。単に学校だけではなく、その地域がその学校を核としながら、新たな形でのまちづくりの大きな中心となる学校づくりになればいいと考えている。



石橋中学校アトリウム



相澤康男 議員

消防団員の勧誘を 市は自治会長と協力して支援できないか

市長 多くの方に参加してもらうため、自治会長会議、消防団各部において連携が図れるよう支援する

Q 現在の消防団員の充足率と、団員に占める市職員の人数と割合はどうか。大規模な災害が起きた場合、円滑に活動できるのか。

A 市長 本市の団員定数 468 名に対し、実数は 412 名で充足率は 88%である。そのうち市職員は 32 名で 7.8%となっている。大規模災害が発生した場合は、市職員としての任務が優先される。

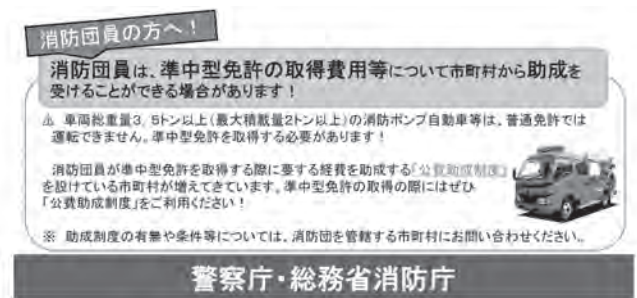
市民生活部長 広報などでPRし、人数の充足率を高めていく。

Q 女性団員を募集しているが活動内容や環境がどの程度整備されているのか。

A 市民生活部長 他市の事例のように、防火指導や救急指導をメインとして活躍していただくほか、広報活動などを取り入れた女性消防団作りに消防団と協議していく。

Q 普通免許で消防車の運転ができない団員に対し準中型免許の取得に公費全額負担できないか。

A 市民生活部長 県内 6 市町で補助等があるので、消防団と連携して進めていく。



警察庁・総務省消防庁の案内チラシ(抜粋)

中学の制服の選択制 (スカートまたはスラックス) を導入する考えは

教育長 南河内小中学校は開校に合わせて取り入れる方向。他の 3 校も前向きに検討する

中村節子 議員

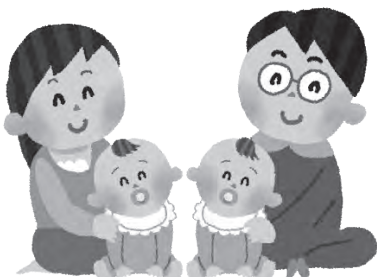


Q 男子にも対応していくのか。

A 教育次長 南河内中学校区小中一貫推進協議会で審議しているが、男子生徒にも配慮の必要があるとの意見があり男女問わず検討している。

多胎児を持つ家庭をどのようにサポートするか

Q 下野市には自治医科大学附属病院があるため、双子、三つ子などの多胎児の家族が集まりやすい傾向にある。多胎児育児経験者による訪問、相談事業、交流の場の提供などが、今年度から国によって補助されるが、市はどのように取り組むのか。



今年度から国によって補助されるが、市はどのように取り組むのか。

A 市長 要望等を確認しながら、市独自の支援について検討していく。

Q 多胎児のいる家庭に日常生活のサポート、外出時の補助などを行う育児サポーターを派遣する事業に対し、国は今年度から支援を始めた。市では導入を考えているか。

A 市長 多胎児の育児は大変なものだと認識している。父子手帳の交付、両親学級などを通してパートナーへの働きかけを行う。育児サポーターの派遣についても検討していく。

Q 両親学級は、妊娠した母親と父親(どちらかでも可)が受けるもので、2回のコース(妊娠中の配慮、産後への心構えなど)になっているが、多胎児のための講座も開けないか。

A 健康福祉部長 そのようなカリキュラムも計画していければと考える。

伊藤 陽一 議員



リモートワークに対応した新たな移住促進策を！

市長 サテライトオフィスなどの補助制度創設に向けて研究している

- Q** 現在の情報発信で補えない部分や移住促進情報など、市内外に発信できないか。
- A 市長** ホームページ内「プチハピしもつけ」を、移住・定住情報を発信し繋げたい。
- Q** 下野市は道路交通網を利用した交差点的な位置になる。このベストポジションをアピールポイントにできないか。
- A 総合政策部長** 東京だけではなくてレジャーを楽しめる便利な所に位置しているのでアピールする方策を検討していく。
- Q** リモートワークに対応した整備を行い、アピールポイントを発信しアフターコロナを見据えた移住促進策の展開に繋げるべきと思うが考えを伺う。
- A 市長** 郊外でのワーキングスペースや駅周辺でのシェアオフィスなどウィズコロナ時代における環境整備

の施策が必要と捉えている。国の令和3年度予定のテレワークの交付金を活用し、サテライトオフィスやシェアオフィスの補助制度創設に向けて現在研究している。

- Q** サテライトオフィスでは事務所的な考え方と思うが、個人で使える小さなスペースの集合体も必要で、両方の考えはないか。
- A 総合政策部長** 環境整備に対する助成も有効な制度となるように検討していく。



補聴器購入補助事業の上乗せ給付の考えはあるか

市長 障がい福祉サービス全般について検討の必要があり、補聴器の上乗せ給付は考えていない

五戸 豊弘 議員



- Q** 聴力が規定以下の身体障がい者で、補聴器購入の補助制度を利用している給付状況と本事業への上乗せ給付を行うべきであると考えますが、見解を伺う。
- A 市長** 令和元年度の給付実績では、補聴器の購入が35件、修理が13件、合計48件となっており、年齢の内訳としては、65歳以上の方の購入が大半を占めている状況である。障害者総合支援法による補装具支援事業は、原則として自己負担の購入金額の1割であり、上限額は37,200円と定められている。補聴器購入の補助については自己負担額を除いた

費用額に対し、国、県で4分の3、市が4分の1を負担している。高齢化が急速に進む中、補聴器以外にも様々な補装具があることから、補聴器購入だけに給付の上乗せを行うことは今のところ考えていない。

- Q** 軽度・中等度難聴児で障害者手帳を持っていない児童や、65歳以上で身体障がい者以外の補聴器購入資金助成制度を創設すべきと考えますが見解を伺う。
- A 健康福祉部長** 補聴器に特化した補助は現在のところ考えていないが、高齢者も働く時代がやってくるということなので、国の動向などを注視しながら対応してまいりたい。



奥田 勉 議員

五輪をきっかけにした キプロス共和国と子どもたちの 交流事業計画は

市長 駐日キプロス大使館と連携を図りながら
取り組んでいきたい

Q キプロス共和国の選手が安心して練習に打ち込める環境づくりとともに、メダル獲得に向けて選手の機運を高めることが大事だと思う。そのために必要な取組について施策があるか伺う。

A 市長 大松山陸上競技場など施設、環境面で好評価を得ており、事前キャンプの際には、練習の補助や通訳も含め、市民ボランティアも重要な役割を担うと考える。子どもたちや学生による練習の見学、応援を実施するなど、新型コロナウイルス感染症防止対策を念頭に置きながら選手のモチベーションの向上を図る。

Q 「五輪をきっかけに交流を子どもたちレベルに広げていく」と地元紙の記事にあった。またとない機会なので未来を担う子どもたちが参加できる企画内容と今後の取組について伺う。

A 市長 事前キャンプ実施前にキプロス共和国をPRするマスクの配布や、選手団への手紙の送付、小・中学校給食でのキプロス料理の提供、子どもたちの絵画作品の交換などを考えている。子どもたちの夢や希望を育むきっかけとなり、次世代のオリンピック選手、パラリンピック選手の輩出や、国際感覚を育むチャンスと捉えており、キプロス大使館と連携を図りながら取り組んでいく。



市役所を訪れたキプロス共和国駐日大使

合併後に策定した 「新市建設計画」の総括を求める

市長 総合計画に取り込んで内容を管理してきた。
改めての総括はしない

磯辺 香代 議員



Q 合併自治体に与えられた財政優遇措置が令和2年度で終了する。合併の主な目的であった行財政改革や、合併特例債の活用による「新市建設計画」の進捗状況、残された課題と今後について、一つの区切りとして総括し、着手しなかったものについては説明すべきと思う。

A 市長 行財政改革は職員や特別職の削減で十分な効果があったと考えている。引き続き「第4次下野市行政改革大綱」に沿って進める。合併特例事業債は今年度の発行予定額5億9,480万円を加えると、累計

が発行可能限度額の228億円となる。最大限活用した。また、「新市建設計画」は総合計画に引き継いでいる。改めて検証しない。

次年度予算「新たなステージ創生」とは

Q 令和3年度予算編成の基本方針にある「新たなステージ創成」とはどういう意味か。

A 市長 後期基本計画の初年度であること、合併特例事業債の活用期間が本年度で終了し、今後は本当の意味で自立した財政運営が求められること、コロナ禍における新しい生活様式に対応した各種事業を積極的に進めていくことなどから、令和3年度予算を「新たなステージ創成」予算とした。



新市建設計画

令和2年第3回 臨時会

11月30日(月)

令和2年第3回臨時会が11月30日に開催されました。
市長提案により、専決処分の報告3件と条例の改正4件の計7件が提出され、議案の説明に対する質疑の後、採決しました。

専決処分3件の報告は、市道舗装欠損によるタイヤ等損傷事故への損害賠償額決定についてでした。事故の責任範囲の査定後、金額が決定され、市が加入する総合賠償補償保険によって支払われます。(100万円以下の案件については専決処分してよいことを予め議決しています)

4件の条例改正は、令和2年の人事院勧告及び「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律」に準じたものです。市長等、議会議員、一般職員などの期末手当を0.05月分引き下げました。

総括質疑

市長から提案された議案について、疑問点を問います。

議員報酬、市長等及び職員の給与等に関する条例の一部改正

Q 今回の改正によって、期末手当全体の減額はいくらいになるか。

A 一般職員、特別職、任期付き職員、市議会議員、会計年度任用職員合わせて873万円ほどになる。

Q 月数を下げるより、役職加算の率を引き下げる方が公平性、透明性が高まるのではないか。

A 職員の給与に関しては、人事院勧告に基づいた改正を行うのが適切と考えている。

Q 再任用職員の期末手当を引き下げないのはなぜか。市としての見解を伺う。

A 今回の人事院勧告は再任用職員を引き下げの対象としなかった。それに準じた。

第3回臨時会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	坂村哲也	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	奥田勉	中村節子	大島昌弘	高橋芳市	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	磯辺香代	松本賢一	岡本鉄男	村尾光子
議案51号	下野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案52号	下野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案53号	下野市職員の給与に関する条例及び下野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案54号	下野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 (議長は表決に加わらない)

議会に報告があったもの (表決はありません)

議案等番号	案件名	内容
報告14号	専決処分の報告	市道での事故に係る損害賠償金額74,818円の決定
報告15号	専決処分の報告	市道での事故に係る損害賠償金額3,628円の決定
報告16号	専決処分の報告	市道での事故に係る損害賠償金額26,493円の決定

会派活動の「これまで」と「これから」



平成30年4月の市議会議員選挙後に導入された「会派制」。約3年が経過し、これまでどのような活動を行ってきたのか、また、これからの会派の活動について3名の会派代表者に聞きました。
(聞き手：中村節子、坂村哲也)

Q. これまで会派として取り組んできたこと



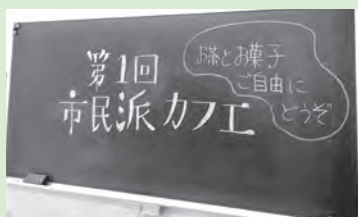
一心会 代表
岡本 鉄男 議員

市民の声を政策に!

市民の声を大切にしてきました。会派の議員同士で互いに教え合い情報の共有をし、積極的に研究を重ね活動してきました。その結果、高校生までの医療費無償化、FMゆうがおの開局など、様々な政策を実現することができました。



市民との対話を重視



年1回、市民との意見交換会「市民派カフェ」を開催し、市民の要望を一般質問などで実現。例えば「公園への健康器具設置」、「公金詐取事件の損害の公開」などです。話し合いを大切にし、これまでの打合せ回数は29回になります。種子法が廃止されたときには、それに代わる県条例の制定を求めるなどの意見書を会派で提出し、議会で採択され、県に提出されました。



下野市民派クラブ 代表
村尾 光子 議員

多くの政策を実現

会派の議員同士で研究を重ね情報を共有してきました。特に、スマートインターチェンジ事業、産業団地整備事業、教育施設の耐震化、三王山ふれあい公園の整備事業などの政策を一般質問や日常の活動などで市長に提言をしました。多くが着手され、会派としての取り組みが政策の実現につながりました。



(仮称)下野スマートICの整備イメージ



清明会 代表
松本 賢一 議員

Q. これから取り組みたいこと



文化会館の建設、県道鹿沼下野線、県道小山下野線の全線開通のための道筋をぜひつけていきたいです。どの事業も実現までに多くの課題があります。単に要望するだけではなく、会派としてできることに積極的に取り組みます。



国道4号線周辺も含めた商業施設、交通弱者が利用しやすい店舗などの誘致に取り組んでいきたいと思えます。また、仁良川地区土地区画整理事業など将来のための政策について、財政などの課題を抱える中でも早期の完了を目指して活動していきます。



これからも市民派カフェを開催し、市民の皆様の声聞いていきます。医療のまちである下野市には医療が必要な方が集まります。今年、市内で「医療的ケア児のための施設」をオープンする方がいるので、力になれるよう研究します。

「医療的ケア児」

生活する中で医療的な援助（たん吸引、経管栄養、酸素吸入など）が必要な子どものこと。

【取材を終えて……】

全ての会派に共通していることは、市民の皆様の声を大切にすることでした。そして、たとえ所属する会派は違っても、目標を達成させるためにはお互いに協力するという意識です。

私も会派に所属する議員として活動する上で何が大切であるか、改めて考えさせられました。（坂村哲也）



87.9
MHz

議会情報 ON AIR! FMゆうがおで、 「こんにちは!下野市議会です」がスタート

議会広報コーナーとして議会の情報を広く市民の皆様にお届けするため、「こんにちは!下野市議会です」をスタートしました。

議会情報というと、年4回発行している議会だよりやホームページが中心でしたが、議会だよりは定例会の約2か月後の発行であり、定例会での議案審査や結果、議会での出来事などをすぐにお知らせすることができませんでした。「FMゆうがお」を活用することで、情報をタイムリーにお届けできると考え、検討を進めてきました。

毎月1回、議員がスタジオから生放送で、議会の情報をお届けします。

ぜひ、多くの皆様に聴いていただきたいと思います。よろしく願います。



議会運営委員会の石田委員長と松本副委員長が生出演(12月28日)

こんにちは!
下野市議会です

FMゆうがお(87.9MHz)の、行政情報番組「しもつけピタッとラジオ(12:00~12:55)」内で発信中! 毎月最終月曜日です。

♪ぜひ、お聴きください♪

新型コロナウイルス感染症対策が続いています

市民の皆様、また、議会に興味を持っていただいている皆様、いつも市議会を傍聴していただきありがとうございます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響で、議場には入ってもらうことができず、4階ロビーでの傍聴となり、生で私ども議員と市執行部とのやり取りをお見せできないのは申し訳ないと思っております。一刻も早くコロナ禍が終息して、議場でお会いすることを願っています。

これからも市議会に関心を持っていただき、傍聴に来ていただくことを議員一同心よりお待ちしております。
 (貝木幸男)



議会だよりモニターを募集します! (令和3年4月 募集開始)

下野市議会では、議会だよりに関して市民の皆さんから意見や感想、提言をお聴きし、より充実した議会広報とするため「議会だよりモニター」を募集します。年4回発行する議会だよりに関するアンケートにご協力いただくほか、議会だよりモニター会議にご参加いただけます。

募集の詳細、申し込み方法については、市議会のホームページをご覧ください(3月下旬ごろ掲載予定)。

第1回 定例会 (3月議会) の予定

※会議の予定は変更になることがあります。

※日程が決定次第、議会ホームページでお知らせいたします。

日	月	火	水	木	金	土
2月21日	22	23 天皇誕生日	24 開会	25 本会議	26 代表質問	27
28	3月1日 本会議 一般質問	2 一般質問	3	4 常任委員会	5	6
7	8	9 常任委員会	10	11	12	13
14	15	16	17	18 本会議 閉会	19	20 春分の日

編集後記

寒さが続く中、新型コロナウイルス感染症は終息の兆しが見えず、感染症対策を続けている毎日と思われま。席書大会・賀詞交歓会・成人式など、新年の行事についても中止・延期となり寂しく感じています。

さて、今回、議会だよりは「親しみやすさ」や「読みやすさ」を求めてリニューアルを行いました。いかがでしょうか。また、FMゆうがおでは議会情報コーナー『こんにちは!下野市議会です』が始まりました。

今後も、身近で理解しやすい議会となるよう努めてまいります。
 (伊藤 陽一)

発行 栃木県下野市議会 編集 議会だより編集委員会

委員長	中村 節子
副委員長	坂村 哲也
委員	伊藤 陽一
	貝木 幸男
	奥田 勉
	磯辺 香代

※次号 (No.60) は 5月15日に発行します

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話0285(43)1236

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約18.5円です。